

2年生の総合実習で石灯笼の移動および据付を行いました♪

皆さん石灯笼は知っていますか!?

石灯笼とは、もともとは神仏の献灯として用いられ、やがて茶庭の照明をする役目から、庭園の装飾的な添景物として用いられるようになりました。

種類も豊富で色々な形をしているものがあります。

右図は左から雪見灯笼、織部灯笼、岬灯笼

水蛭型となっています。色々な形があると思いませんか?



そんな石灯笼が校内で管理されている場所は、次年度の坪庭の作庭場所になるため、人力で運べるものは担ぎ棒による運搬を行ったり、大きな灯笼に関しては移動式クレーンを操作して実施しました!



移動した灯笼は…**水平器**を使って据え付けていきます(‘◇’)ゞ

手こずってしまうかな?とも思いましたが、造園技能検定(3級)を受験した2年生の皆さんにはお手の物(*´艸`)スムーズに灯笼を据え付けることができました!!



次年度の坪庭作庭に向けて…この学びが活かされると良いですね(*´艸`)